

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372101481
事業所名	グループホーム岡崎若松の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 総代(自治会長)が届けてくださる市政だよりは、緊急外来等大切な情報が含まれていて大変役立っているほか、「清掃や訓練に参加したい」として「回覧板を廻して欲しい」と総代にお願いし、回覧板が届けられることも数年前に叶っています。他にも演芸ボランティアや中学校の職場体験の受け入れもおこなっています。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 運営推進会議に出席くださる総代が子ども会のよさこいを呼んだり、「地域の土嚢を使っていいよ」と風水害を気に掛けてくださるなど親身で、運営推進会議を通じて地域交流が進んでいます。また民生委員の参加を以て独居等の福祉情報を共有でき、事業所でも事故をはじめとする課題を投げかけ、解決の糸口を見つけています。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 岡崎市から派遣されている介護相談員には運営推進会議の開催案内を事業所からだしてあり、介護相談員はその日程に合わせて来訪くださるという厚い協力を得ています。市の研修会や小部会(グループホーム事業者の集い)にも努めて出席しており、空室対応では紹介を得たこともあります。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 居室担当者が写真掲載のうえ手書きで様子を綴り、おこづかいの残額も付して、『若松通信』を隔月発行することで家族の安心を担保しています。事業所側から積極的にアプローチはないものの「要望には全力で応えたい」として、管理者のその姿勢が職員に伝わっている様子も視認しました。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	